

# TEGOネットだより浜田

ごあいさつ

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成 30 年 10 月 10 日 第 124 号  
浜田市農林業支援センター

秋本番、実りの秋を迎え、丹精込めて世話をしてきた農作物の出来は如何でしょうか。とりわけ、今年の夏の「極暑」での農作業は大変であったと思いますが、「豊作」の喜びの声が望まれます。

この時期は、「五穀豊穡」を感謝する秋祭りが各地域で行われています。秋祭りと言えば、「石見神楽」で、夜を徹しての神楽の奉納があります。子供の頃、眠い目をこすりながら、夜が白む頃まで、神楽を観た思い出があります。最近では、色々なイベントで日常的に神楽が観られるようになっていますが、斎灯の火あかりに照らされ、地域の人が舞殿を囲み、間近で観る神と鬼との迫力ある立ち合いや、笑いを誘う演目・アドリブもあり、奉納神楽の良さや親しみを感じます。神楽を舞われる農業者も多いと思います。昼の農作業に夜の神楽と大変かもしれませんが、頑張って祭りを盛り上げてください。

( 浜田市農林業支援センター長 坂田 佳則 )



## 1. 各支援チームからの話題

## 平成31年度ふるさと農業研修生募集中

### 新規就農者支援チーム (担当: 石津・渡邊)

#### 平成 31 年度ふるさと農業研修生の募集について

平成 31 年 4 月開始のふるさと農業研修生を募集しています。

ふるさと農業研修生制度は、市内の認定農業者又はそれに準ずる方を指導者とし、最長 3 年間の研修を行い、その後自営就農や兼業就農（半農半 X）につなげていく制度です。研修 1 年目は、研修手当として月 15 万円と家賃補助最大 2 万円の支援を行っています。※2 年目以降については、就農形態によって支援内容が異なります。「新たに農業を始めてみたい」「後継者を育成したい」といった方がおられましたら農林業支援センターまでご相談ください。



平成 30 年研修生 島崎光一さん  
研修先 中山農園（養蜂）

### 認定農業者支援チーム (担当: 小浴・石津)

## 田んぼアート完成



金城町小国の認定農業者の株式会社藤若農産さんは、事務所近くの圃場にて例年「田んぼアート」での田植え体験や生き物観察会、稲刈り体験など、子供から大人まで参加してのイベントを開催されています。12 月には、しめ縄づくりも実施されます。

今年の田んぼアート（写真は 9 月 3 日現在）は、本年の干支である戌（イヌ）を描く、見事な出来栄です。「いいね！（いい稲）でした。」

この活動の様子は、会社のホームページにて紹介されています。

### 集落営農組織支援チーム (担当: 渡邊・田村)

集落営農チームでは、各地域の集落営農組織の立ち上げや法人化について相談・協議を行っています。農村の高齢化、担い手の不足が急速に進んでいます。地域の農業を維持していくためにも、みなさんで集落営農に取り組んでみませんか。何でもお気軽に相談してください。

『10月のチーム活動』：10月10日：自走草刈機の視察(佐田町)  
10月15日：集落営農法人化研修会(出雲市)



## 2. 「いちじく祭り」の開催について

平成30年9月21日（金）、浜田市いちじく生産組合による「いちじく祭り」が産直市場黒川店前において開催されました。いちじく生産組合の32名の組合員は、良質のいちじく生産のために、先進地視察や栽培研修等を積極的に行われており、自慢のいちじくが店頭に並びました。

当日は、300g入り1パック350円と1kg入り1箱800円のいちじくが販売され、非常に好評で午前中の早い時期に完売となりました。平成30年9月22日（土）、道の駅「サンピコごうつ」でも開催されました。



## 3. 平成31年(2019年)は、「浜田開府400年」です！

\*\*\*\*\* <sup>とき</sup>「時代を超えて明日につなぐ」 <sup>あす</sup>\*\*\*\*\*

400年に想う未来 — 新たな浜田の物語

浜田地域はおよそ1300年前の国司時代より綿々と歴史を紡いでいますが、現在の浜田市のまちづくりの基礎ができたのは、元和5年（1619年）、伊勢国松坂から浜田に転封した初代藩主古田重治の浜田藩の開府に遡ります。

平成31年は浜田藩が成立してから400年を迎える節目の年です。開府400年を契機に浜田の歴史や文化、まちづくりをふりかえり、新たな浜田のすがたを考える機会にしましょう。



浜田開府400年 ロゴマーク

## 4. 西条柿初出荷式について

平成30年10月2日（火）、いわみ中央西条柿生産組合による平成30年産の西条柿の初出荷式が、内村町の西条柿選果場前広場において開催されました。今年の出荷目標170t、販売目標5,500万円となっております。

関係者約80名に見守られながら市場に向けて出荷されて行きました。



稲垣生産組合長あいさつ



ドライバーへ花束贈呈



万歳三唱



出荷便見送り

## 5. 平成30年「秋の農作業安全確認運動」が実施中

近年、農業就農人口が減少する中、農作業死亡事故は300人以上で推移しており、事故件数を減少させることが喫緊の課題となっています。農作業事故防止に向けた対策の強化を図る必要があり、このため、秋作業が行われる9月～10月を重点期間として、「秋の農作業安全確認運動」が実施されています。農作業事故防止の取組みをよろしくお願いいたします。



重点テーマ

『まずは **ワンチェック、ワンアクション** で **農作業安全** 』

当情報誌は、新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご覧いただいております。ご意見や掲載をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発行元 浜田市農林業支援センター（農林振興課 普及支援係）  
〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地（浜田市役所 4階）  
TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477  
E-mail：n-shien@city.hamada.lg.jp